

神実様鎮座祭祭文

これの神床を清らかに払い清めて今し厳かにお鎮まり
下さいました親神くにとこたちのみこと をもたりのみ
こと くにさづちのみこと月よみのみこと くもよみの
みこと かしこねのみこと たいしよく天のみこと を
ふとのべのみこと いざなぎのみこと いざなみのみこ
となる天理王命の御前に慎んで申し上げます

親神様には片時の休みもなく私たちの上に深い親心一
条にお働き下されお蔭で毎日明るく陽気に暮させて頂き
洵に感謝の念に堪えません殊には 市 区 町
番 号に住まわれる 氏は の教会後

継者と学舎を同じくし学友の立場から早くより教会に出
入りし自然と信仰が身に付き三ヶ月の修養科も楽しく終
えられておりましたが ご家族のご理解も深まりここに
旬満ちて 真柱様の上級お入り込み記念とも思われる
この月この日よき今宵神実様を只今鎮座させて頂く運び
と相成りました

これより後は益々かしもものかりものの理を心に強く治め
ひのきしんの実践に励み 喜びに明け感謝に暮れる
なるほどの家庭を目指し 先祖の御霊様方にも一層敬慕
の情をつくし 世界たすけの旬々の御用にも心の限り力
の限りつとめさせて頂きたいとお誓い下されております
が この講社を拠点としてなされるたすけ一条の上には
珍しく不思議なご守護を賜わり 尚これの周辺に思召下
さる 陽気ぐらしの実が次々と拡がって参りますよう
お導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます